

日々の

暮らしに

香川芳子

香川栄養学園園長

え／目黒雅也



駒込駅のつつじ

都会では鯉のぼりが泳ぐ姿を見かけることは少なくなりました。少し前までは、J R京浜東北線に乗ると赤羽駅を過ぎて荒川の鉄橋を渡るあたりでは、車窓から見渡す景色のあちこちに五月晴れの空に泳ぐ鯉のぼりの姿がありました。男の子の健やかな成長を願う気持ちを感じられてほのぼのしたものでした。所用があつて浅草橋によく出かけるのですが、そこは人形

の街。時季になるとショーウインドウに飾られる桃の節句や端午の節句の人形や兜、鯉のぼりなどを見ては楽しんでいました。

初夏といえば私が大好きなつつじの季節です。学園のあるJ R山手線駒込駅の土手はつつじで彩られます。見事です。ホームに立つと線路沿いに植えられたつつじの群生を一望にながめることができます。山手線内でこんなきれいな駅はほかにないと思います。先月も江戸末期の巢鴨・駒込界隈は植木職人の町と書きましたが、その植木職人らによつて、1910年の駒込駅開業を記念して植えられたものだそうです。毎年変わらなく、私たちを楽しませてくれます。きちんと手入れされ、地元やJ Rの人々の愛情を受けていることが感じられてうれしくなるのです。